



町民の声

持続可能な町づくり (交流人口から定住人口へ)

高規格道路供用開始に向けた
交流人口拡大方策検討委員会
副委員長 奥山 伸 さん
(七日町 64歳)

2020年10月1日に私が応募させて頂きました「高規格道路供用開始に向けた交流人口拡大方策検討委員会」の会議が行われました。金山町の未来を見据えての方向性を提言すべき重要な会議と思っております。

さて昨今SDGsの一環で「持続可能なまちづくり」ということが新聞紙上で目にすることが増えました。優先されるべきは住民の幸福度・満足度であることは勿論ですが、同時に先進的な全国の例をみればどうしても町民の意識改革が必要とされます。実際高規格道路開通後には金山を目的にインターをおりてくる方達をいかに満足させられるかという事が重要になります。

過去に私も町よりドイツ研修に参加させて頂きました。その際「グリーンツーリズム」というテーマでの先進地研修を経験して、自然や農林業を体験しての滞在からその地の文化や歴史に触れ、町民との交流により移住に繋がっていけば理想であると思

た事があります。

わが町は多くの自然に恵まれていますし、稲作・植林・落花生など農林体験の要素も豊富です。欲を言えば神室ダム周辺の再整備をしてキャンプなどでの交流人口の呼び込みも必要かと思えます。また当然ながら街並も有益な財産です。すでに民間有志による計画が進んでいるようですが私は魅力の点では既存の景観観光地には及ばないと思っています。時代の変化で「街並景観100年運動」は形骸化してきているのではと感じています。

先に「新庄最上の観光まちづくり」のセミナーに参加した事がありますが、そこでは観光消費額の向上・雇用創出・定住人口増が持続的な地域社会づくりにつながるのとことでした。

withコロナと言われる現在、例え収束してからも観光の形は以前と全く同じ状態に戻るとは考えにくく、やはり「マイクロツーリズム」という国内・近場での体験型観光に目が向けられて行くのではないのでしょうか。

何れにせよ「訪ねてよし・住んでよしの金山」を念頭に、若者や女性の意見を聞きながら、今後とも将来のまちづくりに少しでも貢献できるように勉強して行きたいと思えます。



高規格道路供用開始に向けた交流人口
拡大方策検討委員会の様子

議会新豆知識 No.7

● コロナ禍と議会

議会の役割の中で、最も重要と言えるものの一つに「意思決定」があります。議会は、さまざまな課題に対して解決策を考えて首長に提案をすることはできますが、最終的に予算を編成する権限は首長にあります。そして首長の権限で編成された予算にGOサインを出すかどうかを議会が判断します。

現在のコロナ禍であっても基本的な役割は変わらず、それぞれの議会で感染症対策を十分に行いながら議会運営を行っております。

最近では、オンライン議会などに取り組んでいる議会もあり、これも感染症対策の一環で3密を避ける狙いがあります。

ちなみに、議場に議員全員が集まって行われる本会議については法律の解釈上「本会議への出席は現に議場にいること」とされており、オンライン形式ではできませんが、各委員会等は総務省の通知により開催して差し支えないとされております。

3月議会定例会は3月4日(木)～12日(金)の予定です

町民の皆様の傍聴をお待ちしています

日程は近くなりましたら町ホームページ内の議会ページでお知らせします。

ヴェジタリアン No.6

新型コロナウイルス感染拡大により、「命」優先か「経済(金銭)」が優先かで揺れています。また、感染拡大によって家庭での生活が求められています。

家庭って何なの。命の誕生(始まり)、人を育てる基たる所、心休まる環境、親子が心をみがき高める環境、人が満開の花を咲かせる御場所、悔いなき人生終日迎える御場所、社会の基本が家庭であります。新型コロナウイルスは、何が大切なのか教えています。

「経済」は再生できませんが「命」は再生できません。命あつての人の世であります。みなさんは経済優先、それとも命優先ですか。

(文責・早坂 憲明)

発行責任者

■ 議会議長 柴田 清正

議会広報常任委員会

■ 委員長 沼澤 道也
■ 副委員長 星川 智子
■ 委員 寒河江 宏一
 中村 忠行
 大場 洋介

